



# 国際プラザニュース



発行: (公財)宮崎県国際交流協会 〒880-0805 宮崎市橘通東4-8-1 カリーノ宮崎地下1階  
Tel: 0985-32-8457 Fax: 0985-32-8512 E-mail: miyainfo@mif.or.jp ホームページ: <https://www.mif.or.jp/>  
開館時間: 10:00~19:00 [火曜~土曜] 休館日: 日曜・月曜・祝日・12月29日~1月3日

## 国際交流員とおしゃべり会♪ ※無料・要申込み

県の国際交流員と楽しくお話しませんか？

★キャサリンさん：イギリス出身（日本語・英語）

◇日時：①3月14日（金）15:00~16:00

②3月28日（金）15:00~16:00

◇締切：①3月7日（金）②3月21日（金）



★ユーティンさん：シンガポール出身（日本語・中国語）

◇日時：3月11日（火）15:00~16:00

◇締切：3月7日（金）



★ヘジョンさん：韓国出身（日本語・韓国語）

◇日時：3月13日（木）15:00~16:00

◇締切：3月6日（木）



場 所：カリーノ宮崎 地下1階 宮崎県国際プラザ

◇定 員：4名（参加回数少ない方を優先し先着順）

※申し込みは電話、来館、メールにて受け付けます。

◇申込・問合せ：(公財)宮崎県国際交流協会（担当：小原）

## 協会機関紙「South Wind vol.106」を発行しました！

(公財)宮崎県国際交流協会は機関誌『South Wind』を年に2回発行しています。最新号（2025年3月号）の内容は以下の通りです。



・特集 みやざきインターナショナルフェスタ

「ワールドテラス2024」

：ステージ発表や各ブース、

第19回「外国人が見た宮崎」アート作品展 最優秀賞の紹介

・多文化共生社会をめざして

：講演「外国人と共に拓く地域の未来

～持続可能な社会の形成とダイバーシティ」

・Hear! Here Voices

：中野 マルセルさん（ブラジル出身）のインタビュー

ホームページではバックナンバー（vol.95~vol.105）も公開しています。ぜひご覧ください！

<https://www.mif.or.jp/south-wind/>

※South Windは日本語のみです。

◇問合せ：(公財)宮崎県国際交流協会（担当：小原）

## 宮崎県国際プラザ図書コーナー

カリーノ宮崎地下1階の「宮崎県国際プラザ」には図書コーナーがあり、一人2冊まで2週間、無料で借りることができます。多文化共生に関する図書をはじめ、英語・中国語・韓国語などの外国語図書や日本語能力試験対策のテキストなども置いています。また、国際プラザや、併設する交流スペースで英字新聞を読んだり、勉強をすることもできます。ぜひご利用ください。



【宮崎県国際プラザ】

カリーノ宮崎地下1階

開館時間: 10:00~19:00 [火曜~土曜]

休館日: 日曜・月曜・祝日・12月29日~1月3日

TEL:0985-32-8457 E-mail: miyainfo@mif.or.jp

蔵書リストはこちらから: [https://www.mif.or.jp/plaza/#book\\_list](https://www.mif.or.jp/plaza/#book_list)

## 国際プラザ休館日のお知らせ

2025年3月20日（木）は、祝日のため  
宮崎県国際プラザは休館します。

## ～みんなで育てよう多文化共生～

宮崎県には現在約1万人の外国人が暮らしています（昨年6月末時点の統計より）。外国人住民のことを知り、ともに助け合いながら生活することにより、違いを持つ誰もがいきいきと心豊かに暮らせる地域社会をつくりましょう！



### 多文化共生って何？



「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」総務省「多文化共生の推進に関する研究会」より

(公財)宮崎県国際交流協会では、多文化共生について考える入口として、県民の方に外国語や外国の文化に触れていただく講座を開催しています。また、在住外国人支援として、日本語講座や防災セミナーなどを開催しています。今月のプラザニュースでは、宮崎在住の外国人の方々の声をお届けしたいと思います。多文化共生と聞くと難しいイメージがしますが、まずは宮崎に住む外国人の方々がどのように感じているのか知ることから始めてみませんか。

- ①宮崎での生活で気に入っているところを教えてください。
- ②日本でカルチャーショックを経験したことはありますか？
- ③宮崎がより住みやすくなるために、改善されたいなと思うことはありますか？

Y. S さん バングラデシュ出身

宮崎在住年数 0年5カ月、日本語クラス参加者



- ①宮崎の人は親切であたたかいです。  
また、食べ物が新鮮で安全なので安心します。
- ②カルチャーショックというより、不思議なことは、日本では財布や携帯を失くしても出てくるのに、自転車の盗難が多いこと。  
（しかし、盗まれた自転車は、近所を探すと見つかるのがまた不思議！）  
ゴミの分別ルールが細かく、それ自体はいい事だと分かっているのですが、分別が大変です。
- ③英語を使って働ける場所がもう少しあればいいと思います。運転免許を取得するのが大変です。英語で勉強できる教習所は価格が高く、安いところは日本語でしか授業をやっていないので、運転免許がなかなか取得できません。今は自転車が移動の手段ですが、もう少し公共の交通機関が充実して欲しいです。



S. T.さん インドネシア出身 宮崎在住年数 2年  
技能実習生



① 寒暖の差が激しくないで生活がしやすく、空気がきれいで、健康にも良いところです。また、外国人が参加できる祭りやイベントが多く、外国人も大切にされていると感じます。

② インドネシアでは家の玄関などに夜通し明かりが点いているので、夜に明かりが少ないことに慣れませんでした。また、公共の場にゴミ箱が非常に少なく、ゴミを持ち帰らなければならないことや、高齢者が車を運転していること、放置されている空き家が多いことにも驚きました。あと、就業開始時間前に出勤し、仕事を始めることも日本の文化だなと思います。

③ 宮崎はすでに住みやすい場所だと思います。政府の外国人支援の取組みも良いと思います。ただ、観光地へのアクセスが見つけにくく、鉄道やバスの時間を調べるのが大変だなと思います。



B. T.さん アメリカ出身 宮崎在住年数 8年  
英語チャットボランティア/定年退職者



① 人が親切で、安全なので安心して暮らせます。また、海などの自然が身近にあるところが気に入っています。

② 税金（住民税や社会保険料）の負担額が大きいと感じます。また、カラスが多くて、ごみを荒らすことには驚きました。夜、暴走族の音がうるさい事や、それに対して誰も文句を言ってやめさせようとしなくて不思議です。

③ 自転車に優しい街になってくれたらうれしいです。（専用レーンを増やすとか、より安全に道路を走れる工夫など）また、道路のサインや標識などが薄くなって見えない箇所があるので、ペイントしてクリアに見えるようにしてほしいです。



E. T.さん コロンビア出身 宮崎在住年数 33年  
スペイン語教師・通訳



① 宮崎は安全なので、家族で安心して暮らせます。子供も勉強に集中できるのが良いです。

② 映画などで見た忍者、侍、着物を着た女性がいることをイメージして日本に来ましたが全然違って少しがっかりしました。挨拶をする時にハグやキスがなく、距離があることには違和感がありました。来日当初、靴を脱がずに家に上がり、怒られてパニックになったこともありました。33年前のことですが、外国人だからというだけで、くすくす笑われたりして、大変でした。



③ 観光地や神社などにもっと英語での表記や説明があると、外国人が楽しめると思います。空港や駅などに英語のMapを置いてほしいです。

## 【お知らせ】JICAデスク宮崎より

今回の説明会では、宮崎県から海外協力隊に参加し戻ってきた方の体験談が聞けます。まずは話を聞いてみるだけでも大歓迎！お気軽にご参加ください。

### JICA海外協力隊募集説明会 in 宮崎 (ご予約はこちらから)

日時：4月12日（土）14時～16時  
場所：ATOMica宮崎（ナナイロ東館8階）  
（住所：宮崎市橘通西3-10-32）  
※予約なしでの当日参加もOKです。



### ★★★JICA海外協力隊 2025春募集★★★

応募期間：3月21日（金）～5月9日（金）  
あなたも海外協力隊に参加しませんか？

詳細はこちらをご覧ください。 →



## スタッフのつぶやき

本紙や今月発行の機関紙「South Wind」の外国人へのインタビューの中でカルチャーショックについて触れていますが、日本人が日本で感じるカルチャーショックもたくさんあると思います。私は18歳の時に初めて宮崎を出て大阪で暮らし始めたのですが、人の多さと大阪弁、そして超！フレンドリーな気質に最初カルチャーショックを受けました。また、大学のクラスメイトの中に九州全県の出身者がいたのですが、同じ九州でも言語や文化が全然違う。私の中の「当たり前」を形成してきた家族や宮崎の学校という小さなコミュニティを出て、日本の様々な地域や人それぞれの「違い」に触れる面白さを知るとともに、「当たり前」とか「普通」って何だろうと思いを巡らせ始めた時期だったなと思います。

(スタッフ：O)



## ♪プラザニュース 英語版より



「じゃあ私の十八番を入れるわ！」



県国際交流員  
キャサリン ケスラー

最近、「最も得意な芸や技」を意味する「十八番」という言葉を初めて聞きました。様々な状況で使われますが、主にはカラオケで使われるようです。英語で言うところの「go-to」カラオケソングでしょうか。カラオケ好きとして、この概念を色々考えてきたので、日本語独特の表現があることを知り、嬉しく思いました。

日本語の歌なら、私には2曲、「十八番」と呼べる曲があります。特にまだよく知らない人達と一緒に歌うときにはどちらの曲も「カラオケパーティー戦略」で活躍してくれます。ここで重要なのはタイミングです。まず、松原みきの『真夜中のドア～Stay With Me』を入れます。有名なミドルテンポのシティポップの曲ですが、皆が盛り上がり一緒に歌い始めるほどの人気ではないため、雰囲気はまだ緩んでいないカラオケパーティーの1幕にぴったりです。もうひとつの十八番はカラオケの定番である『残酷な天使のテーゼ』です。外国人の選ぶ日本の曲としてはありきたりと思われるかもしれませんが、昔は、外国人の十八番は歌が上手いということだけでなく、日本語能力や日本の音楽知識も発揮する機会ではないかと思っていました。でも、より大切なのは皆の盛り上がりで、この曲は必ず盛り上がります。1～2時間すぎて、皆がいい感じで盛り上がりすぎて、私もちょっと酔っ払って心から歌い上げられるようになってからこの曲を入れます。サビは皆と一緒に歌ってくれて、長い音を伸ばすところでちょっと自慢もできます。どちらの曲も自分の得意なパフォーマンスを発揮できることに満足でき、何よりも皆を盛り上げる曲で雰囲気貢献できてうれしいです。

さて、次はだれが歌う？

